

コロンビア経済情勢（１１月）

【ポイント】

- 財務・公債省は本年の成長率予測を８．５％に引き上げ
- 第３四半期の成長率は１３．２％。
- ９月の輸入は前年同月比６４．９％増、輸出は同４０．４％増。

【本文】

１ 主な出来事

<国内情勢>

（１）成長率

（ア）GDP８．５％超の成長の可能性（「ラ・レプブリカ」紙、１１月９日）

財務・公債省が２０２１年の経済成長予測を６％から８．５％に引き上げたことについて、レストレボ財務・公債相は、各指標が上昇すれば年末までに８．５％を超える経済成長が見込めると述べ、公的債務と財政赤字は当初予測より低くなると指摘した。

（イ）第３四半期成長率は年間予測を押し上げる（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、１１月１７日）

国家統計庁（DANE）は、２０２１年第３四半期の成長率を１３．２％とし、この数値と１月から９月までの成長率が１０．３％であることを強調し、成長率予測の上方修正や２０２１年の二桁成長の可能性があり得るとした。

（ウ）ANIFはGDP成長率予測を上方修正（「ラ・レプブリカ」紙、１１月２４日）

全国金融機関協会（ANIF）は、２０２１年の経済成長予測をこれまでの８．４％から９．７％～１０．１％幅に引き上げた。

（２）貿易

（ア）輸出は４０．４％増の３５億７，２５０万米ドル（「ラ・レプブリカ」紙、１１月２日）

国家統計庁（DANE）は、２０２１年９月の輸出は３５億７，２５０万米ドルで、前年同月と比べ４０．４％増加し、これは主に燃料部門の輸出が７４．８％増加したことによると発表した。燃料、採掘業製品輸出は総額の４７％を占め、次いで製造業２４．２％、農業、食品、飲料２１．０％、その他７．８％であった。

（イ）非鉱業輸出は２００８年以来最高に（「ラ・レプブリカ」紙、１１月３日）

商工観光省は、９ヶ月間の非鉱業・エネルギー製品の輸出は１３０億６，１００万米ドルで、２００８年同期の１３２億９，６６０万米ドルには及ばないものの、前年同期と比べ２４．２％増加、２０１９年同期と比べて１３．６％増加したと発表した。農産物と食品輸出が総額６７億９，５３０万米ドルと貢献し、この期間で過去最高の数字で、前年同期と比べ１８．８％、２０１９年同期と比べると２２．８％増加した。また、２０１４年以来最高の数字となった製造品輸出も６３億９，８２０万米ドルで、前年同期と比べ２９．９％、２０１９年同期と比べ３．８％増加した。

（ウ）９月の輸入は６４．９％増加し、貿易赤字は１７億１，１９０万米ドル（「ポルタフォ

リオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、11月17日)

国家統計庁 (DANE) は、9月の輸入は57億3,330万米ドルで前年同月と比べ64.9%増加し、前月(53億4,800万米ドル)を上回ると示した。製造部門は66.5%の増加で総額の78.7%を占め、次いで農産物、食料、飲料が12.8%を占め、燃料・採掘製造が8.4%、その他0.1%と説明した。貿易収支の赤字は17億1,190万米ドルで、前年同月の7億5,810万米ドルより増加した。ボゴタ銀行のシニアエコノミストは、2015年以来の赤字レベルであり、輸出の増加ペースが輸入より鈍いためと述べた。

(3) 新型コロナウイルス流行により失われた雇用の88.4%を回復(「ポルタフォリオ」紙、11月3日)

財務・公債省は、新型コロナウイルス流行により労働市場が大きな影響を受けた前年2月から4月の期間の失業者の88.4%が既に雇用を回復し、この回復はペルー、米国、スペイン、ブラジル、チリなどの国々の回復を上回るとし、回復された雇用の多くは商業(17.4%)、製造業(12.9%)、芸術活動(11.5%)と分析した。

(4) 消費者信頼指数は1.7%上昇し-1.3%に(「ラ・レプブリカ」紙、11月8日)

消費者信頼指数(CCI)は10月に-1.3%となり、前月から1.7パーセントポイント(PPS)上昇した。期待指数が3.5PPS低下したが、経済状況指数が9.5PPS上昇したことによる。消費者信頼指数は2020年1月以来最高水準で、2021年後半の早い景気回復を示す。

(5) ブエナVENTOURA港に国際物流センターを立上げ(「ポルタフォリオ」紙、11月8日)

ブエナVENTOURA地域港湾協会(SPRBUN)は、太平洋地域で最初となる国際物流センター(CDLI)が関税・税関庁(DIAN)により承認されたと発表した。同センターにより、この海運ターミナルに到着する貨物の増加が期待される。

(6) コンテナ船の危機による関税緩和要求(「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、11月10日)

貨物輸送コストは最大1,000%と指数関数的に増加しており、この増加費用の軽減のため、全国商業者連合会(Fenalco)は関税の全般的な削減措置を講じることを政府に求め、貨物輸送業者連盟(Fedetranscarga)は、セクター運営に必要な製品の関税を一時的に0%にすることを要請した。

(7) 第5世代道路建設のため20兆ペソを承認(「ポルタフォリオ」紙、11月10日)

財務・公債相は、第5世代道路計画の8つのインフラ工事のため20兆ペソの資金提供を承認した。このうちマグダレナ幹線は7.3兆ペソと総体で最大の投資で、プエルト・サンガルとバランカベルメハ間は3.7兆ペソ、サバナ・デ・トレスとクルマニ間は3.6兆ペソとなる。

(8) 対外債務は2.1%増加し1,651億6,800万米ドル(「ラ・レプブリカ」紙、11月10日)

中央銀行は、8月の公的部門、民間部門の対外債務を1,651億6,800万米ドルとし、前年同期1,508億4,700万米ドルから増加したことを示した。また公的部門の対

外債務は982億8,600万米ドル（対GDP比31.1%）、民間部門は668億8,100万米ドル（対GDP比21.1%）とし、前月（公的部門は919億5,400万米ドル、民間部門は664億3,600万米ドル）と比べ両部門とも対外債務が増加した。

（9）主要13都市の非正規雇用（「ポルタフォリオ」紙、11月11日）

国家統計庁（DANE）は、主要13都市の2021年第3四半期の非正規雇用を46.7%とし、前年同期の47.1%と比べ0.4%減少したと発表した。男性の非正規雇用は45.5%で前年同期46.7%と比べ減少、女性は48.1%で前年同期47.7%と比べ増加した。

（10）グリーン水素への最大50億米ドルの調達（「ポルタフォリオ」紙、11月13日）

メサ鉱山・エネルギー相は、クリーンエネルギーの世界有数の輸出国を目指すとし、2030年までに2～3ギガワットの電力容量実現のため30億から50億米ドルの投資を達成することが目標で、3.5～4.5ギガワットの非在来型再生可能エネルギーが必要と述べた。

（11）ボゴタメトロ延長のフィージビリティ調査（「ポルタフォリオ」紙、11月15日）

ボゴタメトロ社は、1号線延長の技術的、財務的な実現性調査を進めるため国家開発銀行（FDN）との相互管理契約に署名した。現在72番通りまで計画されている1号線を100番通りまで2.8km延長し、2、3の駅が追加される可能性がある。

（12）現政権の任期中に5G通信網入札は行わない（「ポルタフォリオ」紙、11月18日）

バルデラマ情報技術・通信相は、当初2021年末としていた5G通信網の入札はドゥケ大統領の残り任期中には行われまいだろうとした。情報技術・通信省は、この入札手続に1年又は1年半かかる可能性があり、この政権の残り期間では行えないとしたが、国民の接続性、可能性のため関係施策に引き続き取り組むとした。同相は、将来第5世代通信網に接続するための取組を期待すると述べた。

（13）2022年のインフレ目標3%を維持（「ラ・レプブリカ」紙、11月26日）

中央銀行理事会は、2022年のインフレ目標を2%～4%の幅で3%を維持するとした。世界的なインフレ傾向により2021年はコロンビアを含むほとんどの国でインフレ目標を上回ると説明し、エネルギー等の価格上昇や国際輸送コスト増を理由としてあげた。

<対外経済関係>

（1）イスラエルの6,800万米ドルの投資コミットメント（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、11月9日）

ドゥケ大統領は、イスラエルを訪問する主な目的を、輸出を3倍にし、投資を後押しすることであるとし、9日のイスラエルとの経済フォーラムにおいて同国から6,800万米ドルの投資コミットメントを取付けたことを明らかにした。また、コロンビアは米州におけるイスラエルの主要なパートナーであるとし、2020年8月に発効した同国との貿易協定で表明されたコミットメントを支持し、強化し続けると述べた。

（2）イスラエルへの非鉱業品の輸出は68.3%増加（「ポルタフォリオ」紙、11月10日）

イスラエルとの貿易協定の発効から1年間で同国への非鉱業・エネルギー製品の輸出が増加しており、2021年は9月までに3,230万米ドルを輸出し、前年同期と比べ68.3%増加した。

(3) 副大統領は貿易関係強化のために日本を訪問（「Blu Radio」紙、11月9日）

ラミレス副大統領は、訪日中のインタビューにおいて、TPP11やAPEC等の太平洋における多国間協定における日本との関係強化を求めており、日本を経済発展の戦略的パートナーとみなし、高い経済成長と雇用創出を維持するため優先事項として投資を引きつけ続けることが重要と強調し、また、その中で太平洋同盟の存在を指摘した。

(4) アンデス共同体加盟国との貿易を促進する協定（「ポルタフォリオ」紙、11月20日）

アンデス共同体（CAN）のペドラサ事務総長とラテンアメリカ開発銀行（CAF）のディアス・グラナドス総裁は、ボリビア、コロンビア、エクアドル、ペルー間の貿易を強化する協力協定に署名した。これはアンデス共同体相互運用計画（インターコム）となり、4カ国間の貿易の促進とデジタル化が予定される。インターコムはアンデス・デジタル・アジェンダの一部となり、CANの1億1,100万人以上の市民のため経済的・社会的活性化に貢献する。

(5) 米国へのマンゴー輸出承認（「エル・ヌエボ・シグロ」紙、11月23日）

ドゥケ大統領の検疫外交の成果となるコロンビアのマンゴーの米国への輸出が同国より承認された。セア農業相は、検疫外交戦略により農産物を全ての国にもたすため、米国のマンゴー承認は重要で、生産者に新たなマーケティング機会を与えたとした。

(6) カナダへの輸出は自由貿易協定から10年で最高に（「ラ・レプブリカ」紙、11月24日）

カナダとの自由貿易協定発効から10年の2021年は、両国間の貿易額が最高となり、コロンビアの輸出は10億米ドルと最高額で前年の4億1,460万米ドルと比べ140%の増加を示し、10年間で最大の輸出額であった2018年の8億6,540万米ドルと比べ15.5%増加した。

(7) エクアドルとの砂糖貿易の活性化（「ラ・レプブリカ」紙、11月27日）

エクアドルのコロンビアからの砂糖の輸入は2018年以降制限されていたが、商工観光省と農業省は、同国との調整によりこの製品に課されていた制限措置が解除されたと明らかにした。ロンバナ商工観光相によれば、3年前よりエクアドルにより無関税の輸入割当枠が設定され、割当制限に達すると45%の関税が課されていた。当該割当枠は当初3万トンだったが、その後1万7,229トンに引き下げられ、砂糖生産者に影響を与えていたとし、この制限により、2017年の9万6,000トンから2020年は1万5,000トンと80%以上減少し、約8万1,000トンのエクアドルへの輸出が止まることとなったと述べた。

主な経済指標

経済活動指標	2020/09	2021/7	2021/8	2021/9
国内総生産(四半期)(DANE): %	-8.5	13.2	13.2	13.2
経済活動指数(DANE): %	-6.2	13.5	12.0	12.9
経済活動指数第1次産業(DANE): %	-6.6	2.6	1.7	4.3
経済活動指数第2次産業(DANE): %	-11.8	12.9	12.7	14.2
経済活動指数第3次産業(DANE): %	-4.5	15.8	13.9	14.2
エネルギー需要(XM): GWh	5,881	6,377	6,347	6,308
エネルギー需要ー前年同月比(XM): %	-3.2	8.3	5.7	7.3
雇用				
全国平均失業率(DANE): %	15.8	14.3	12.3	12.1
主要13都市失業率(DANE): %	18.3	15.0	14.2	13.0
消費				
消費者信頼感指数(FEDESARROLLO): %	-21.6	-7.5	-8.2	-3.0
実質小売売上高指数(DANE): %	-0.8	26.9	32.0	15.3
自動車販売台数(単月)(ANDEMOS): 台	18,437	23,130	21,099	22,834
自動車販売台数(年内累計)(ANDEMOS): 台	118,539	134,299	155,398	178,232
物価				
消費者物価上昇率ー前年同月比(DANE): %	0.32	0.32	0.45	0.38
消費者物価上昇率ー前年比(DANE): %	1.97	3.97	4.44	4.51
生産者物価上昇率ー前月比(DANE): %	-0.44	1.50	0.92	1.30
ガソリン価格(ボゴタ)(鉱山省): ペソ/ガロン	8,286	8,828	8,826	8,991
生産				
実質工業生産指数(DANE): %	-3.0	20.1	22.9	15.5
実質工業売上高指数(DANE): %	-1.6	20.8	21.7	14.2
新規建設着工承認面積(DANE): m ²	1,858,656	1,821,952	1,889,486	1,805,147
コーヒー生産量(FNC): 千袋(60Kg)	995	1,209	915	1,209
コーヒー生産量ー前年同月比: %	-9	-8	-16	22
コーヒー価格(IOC)/ 11月から "SUAVE": USD	169.84	214.44	226.90	238.32
石油生産量(日量)(鉱山省): バレル	749,255	731,256	747,773	744,545
石油生産量ー前年同月比(鉱山省): %	-14.8	-0.5	0.8	-0.6
石油生産量(日量・年内平均)(鉱山省): バレル	789,339	730,140	732,344	733,700
石油価格WTI: USD / バレル	39.63	72.49	67.73	71.65
金融				
政策金利(中央銀行): %	2.00	1.75	1.75	1.75
為替 月初(中央銀行): COP	3,745.41	3,748.50	3,867.88	3,774.00
為替 月末(中央銀行): COP	3,878.94	3,867.88	3,806.87	3,834.68
為替 最高値(中央銀行): COP	3,878.94	3,918.49	3,988.27	3,851.22
為替 最安値(中央銀行): COP	3,653.23	3,748.50	3,806.87	3,753.30
株式指数 月初(中央銀行): COP	1,255.76	1,260.42	1,236.03	1,321.27
株式指数 月末(中央銀行): COP	1,171.92	1,236.73	1,319.96	1,361.95
株式指数 最高値(中央銀行): COP	1,258.16	1,298.44	1,334.48	1,361.95
株式指数 最安値(中央銀行): COP	1,165.75	1,236.73	1,226.59	1,301.46
貿易				
貿易収支(FOB)(DANE): 百万米ドル	-758	-1,018	-1,617	-1,712
輸出額(FOB)(DANE): 百万米ドル	2,545	3,444	3,326	3,573
輸出額(FOB)ー前年同月比(DANE): %	-17.0	35.0	28.7	40.4
輸出額(FOB)年内累計(DANE): 百万米ドル	22,859	21,633	24,959	28,532
輸入額(CIF)(DANE): 百万米ドル	3,476	4,801	5,348	5,733
輸入額(CIF)ー前年同月比(DANE): %	-17.2	31.7	49.8	64.9
輸入額(CIF)年内累計(DANE): 百万米ドル	31,452	31,455	36,804	42,537
労働者送金(中央銀行): 百万米ドル	652	742	744	683